



阿伎留神社のお祭り神輿



秋川ライオンズクラブで薬物乱用防止教室



FM 立川で地域の魅力を毎月発信

COFFEE BREAK

森林管理の取組について

五日市の旧街道では、不法投棄や倒木の危険が課題となっていたため、市の補助事業を活用し森林の伐採・整備を進めました。整備には地権者の同意が必要なため、所有者の確認や協力依頼を行い、市と調整しながら事業化を進めています。今後も地域の実情に合った制度を活用し、地域の声を行政に届けながら安全で良好な環境づくりに取り組んでまいります。



不法投棄



12月に伐採

QUESTION

-市民の声をもとに、市の考えを聞いてみた-

① 歩いて楽しめる観光・まちづくり

『自然や景観を生かした“歩きたくなる街”づくりは進んでいますか』

秋川溪谷のランドマークである「あゆみ橋」は、市民や観光客に親しまれている重要な観光資源です。市では定期的な点検や修繕を行っており、一部に腐食が確認されていることから、今後の橋梁点検結果を踏まえて適切な対応を検討するとしています。また、登山道や散策ルートについても、危険木の伐採や階段・手すりの改修、景観整備を継続し、安全で快適に歩ける環境づくりを進めています。こうした整備には、東京都の補助金やふるさと納税（クラウドファンディング）も活用し、限られた財源の中で工夫しながら観光基盤の充実を図っています。

② 空き家を地域の力に

『空き家を“管理”だけでなく、移住・定住につなげられますか』

市では、空き家対策の基本は適正管理としつつも、良質な住宅ストックとしての活用が重要であるとしています。空き家調査や所有者アンケート、移住・定住ニーズを踏まえ関係部署と連携しながら利活用の可能性を検討しています。養沢地区で進む住民主体の空き家活用については、地域特性や住民の機運、土地利用規制を踏まえた上で、他地域への展開も視野に入れた検討を進める考えです。また、市の窓口を中心に、専門家団体や東京都の相談窓口と連携し、空き家セミナーや個別相談会を通じて、所有者が相談しやすい体制づくりを進めています。

③ 子どもと子育て世代の居場所

『子どもたちが安心して集える場所は足りていますか』

五日市地区の児童館は学校内にあり、未就学児や子育て世代が立ち寄りやすいとの声があります。市は今後、「自由に遊べる場所」であることが伝わるよう、児童館だよりの充実や、メール配信・アプリ通知を活用した情報発信を強化するとしています。増戸地区では、待機児童解消のため学童クラブを拡充し、「児童館機能付き学童クラブ」として運営しています。

④ 市の財政と将来への備え

『将来につながる財政運営はできていますか』

納税義務者数や総所得金額は増加傾向にあり、市では賃金上昇や移住・定住施策の効果が一定程度表れていると捉えています。一方で、経常収支比率は99%台と高く、社会保障費や人件費、物価上昇の影響により、財政運営は厳しい状況です。市は、既存事業の見直しを進めながら、学校給食センター整備など優先度の高い事業を軸に、緊急性や安全性、財源の見通しを踏まえて新規事業を判断していくとしています。

PLEASE

あきる野市公式 LINE スタート!



スマホでQRを読み取って登録してみてください!

CHANGE

あきる野市が良くなったコト、モノ

「もっとこうなったらいいな」「これからどうなるのだろう」そんな声を、これからも市政につなげていきます。

- 移住・定住促進による地域経済の活性化（毎年約400名の転入超過）
- 人口減少に一定の歯止めがかかり、税収の下支えに
- 国や東京都の補助制度を活用し、市の負担を抑えて施策を実施
 - 小中学校給食無償化 / 子育て支援の給付 / 物価高騰対策
- 高齢者の補聴器購入助成を開始（令和8年度予算）
- 来年度から子ども誰でも通園制度が本格始動
- 公共施設の将来負担を減らす議論が前進
- 草花大橋が開通し交通の利便性が向上
- 緊急輸送道路の五日市街道で無電柱化に着手

〔国松まさきの3大活動指針〕

- 1 過疎化地域の課題解決と活性化
- 2 働き盛り世代の移住、定住促進
- 3 あきる野市を学習と観光の街へ



延喜式内社
阿伎留神社 禰宜
宮本 典幸 様

GUEST

阿伎留神社に、このたび新しく禰宜（ねぎ）さんが着任されました。地域の歴史と文化を大切に守り続けてきた神社に、新たな担い手が加わることは大変心強いことです。これから地域行事や祭礼などを通じて、より一層、地域の絆が深まることを期待しています。